

## 水辺環境と生き物たちを知る

# 源兵衛川シンポジウム 開催のお知らせ

NPO 法人グラウンドワーク三島は、英国発祥の地域住民・企業・行政のパートナーシップによる実践的な環境改善活動であるグラウンドワークの手法を導入し、「水の都・三島」の原風景・原体験の再生と復活に取り組んできました。環境悪化が進行し、ゴミ捨て場化していた源兵衛川を再生し、ホタルが乱舞する、子どもたちの絶好の遊び場に変身させました。市内から一時姿を消した水草「ミシマバイカモ」や絶滅危惧種である「ホトケドジョウ」が復活し、街歩きの観光スポットとしても国内外に誇れる水辺空間になりました。



しかし、平成 19 年 12 月、電線類地中化工事に伴うコンクリート流出事故が発生し、故郷の宝物である自然環境を著しく傷付け、多くの魚類の死滅など水辺環境に対して甚大な被害を与えました。この事態を受け、グラウンドワーク三島では、静岡県沼津土木事務所の委託を受け、平成 19 年度から環境モニタリング調査を実施し、希少種を含めた各種生態系環境の状況を把握・評価してきました。

そこで今回、これまでの環境モニタリング調査結果等を通して、源兵衛川の水辺環境と生き物について学び、生態系再生に向けた取り組みについて考える「源兵衛川シンポジウム」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**日時** 平成 21 年 3 月 9 日 (月) 18:30 ~ 21:00

**会場** 三島市民活動センター (三島本町タワー 4 階・三島市本町 3-29)

**内容** 源兵衛川環境モニタリング調査の結果報告  
源兵衛川自然再生への維持管理方策について  
源兵衛川の生態系再生に向けた取り組みについて

**講師** 魚 類 山田 辰美 (富士常葉大学環境防災学部教授)  
水生動物 遠藤 浩紀 (長泉町立北中学校教諭)  
加須屋 真 (富士常葉大学講師・日本蜻蛉学会会員)  
植生植物 菅原 久夫 (富士山自然誌研究会代表)  
鳥 類 滝 道雄 (日本野鳥の会東富士支部副支部長)  
水 質 熊井 陞 (環境計量士)  
維持管理 加藤 正之 ((有)地域環境プランナーズ)  
総 括 渡辺 豊博 (グラウンドワーク三島 理事・事務局長)

**申込み** 申込みは不要です。直接会場へお越しください。

**問い合わせ先**

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 事務局 (担当: 村上)

〒411-0855 静岡県三島市本町 7-30

TEL (055)981-5421 Fax (055)983-0136

E-mail [mishimagw@ybb.ne.jp](mailto:mishimagw@ybb.ne.jp) URL <http://www.gwmishima.jp/>

